

第5回 運営推進会議 議事録

平成 30 年 9 月 12 日

事業所名	デイサービスセンター「すみよし」			
開催日時	平成 30 年 9 月 10 日 (月) 14 時 00 分 ~ 15 時 10 分			
開催場所	デイサービスセンター「すみよし」併設施設サービス付き高齢者向け住宅「グットハウスすみよし」食堂			
参加者	利用者	1 名	知見を有する者	1 名
	利用者家族	1 名	地域包括支援センター	1 名
	地域住民の代表	1 名	(同伴の実習生)	1 名
				事業所職員
議題	1 運営状況 2 活動報告 3 質疑応答 4 運営委員からの評価 5 今後の課題			

会 議 録

1 運営状況

利用定員、午前・午後各13名の半日型デイ。一日平均利用者人数、午前11名、午後11名。利用人数は51名。男性21名、女性30名。平均介護度は2。
 H30.4より設けた中重度者ケア体制強化加算のため、職員を1名増やした体制(看護師2名)。半日型デイでありながら、希望者には入浴・食事の提供も行なっている。

2 活動報告

- ・ 半日型デイのため外出レクは普段あまり実施できないが、利用人数が少なかった日に外出レクを行なった。利用者には喜んでいただけた。実践的な機能訓練の意味も込めて、今後も検討。
- ・ 下小河原地区の防災訓練に参加。非常に勉強になった。災害備蓄用の水・食料の見直しを実施中。また地区の防災訓練に参加して気づいた、治療備蓄品(包帯・消毒)についても見直し。
- ・ 実習生の受け入れ。昨年に引き続き、甲斐清和高校普通科総合コース福祉クラスの生徒を受け入れる。
- ・ 認知症サポート事業所として山梨県に登録。社内の職員に対して認知症サポート養成講座受講。
- ・ こうふ開府500年記念ステッカーを送迎車に貼付(地域に根ざした活動の一環として)。
- ・ グット케어便りを9月中旬に利用者全員に配布。9月下旬に山梨日日新聞折込に封入予定。

事故、ヒヤリ・ハットについては、前回会議以降発生せず。発生した際には、関係機関に報告を行うと共に、発生した日の内に職員間で原因・対策等の話し合いを行い、再発防止に努めている。

3 質疑応答

- ・ 今後、外出レクをする機会できたとしたら、どんなことをしたいか。 利用者に季節を感じていただきたいので、花や景色を見に行きたい。また利用者の作品を展示してあるスペースにも皆で行きたい。

4 運営委員からの評価

(利用者)

書いたり、見たり、運動している。良いところ。

(利用者家族)

家でもデイでのことを楽しそうに話している。要望は特にない。

(知見を有する者)

半日型で入浴・食事全部できるデイは、私が把握している中ではここだけ。一日デイだと精神的に負担がかかる利用者もいるのでとても助かっている。職員は大変だと思うが、がんばってほしい。

最近はどこ施設でも非常災害の関心が一番高い。非常災害はいつ起こるか分からないので、避難・備蓄などの情報を担当者だけでなく、職員皆で共有して必要がある。本会議は、私自身、勉強になった。

(地域住民の代表)

地域の防災訓練に積極的に参加してくれて努力が見えている。このような施設は共助が重要になる。防災訓練は年に1回実際に行なうだけでは身にならない。机上訓練を5回、実訓練を1回という風に行なうと良い。災害のパターンを想定して、各職員の役割を具体的に決めていくと、円滑に進める事ができる。

水害の場合、二階建ての建物を事前に調べておくなど、あらかじめ準備ができる。備蓄も構成を考えることが重要(水・米・コンロ等)。災害用伝言ダイヤル「171」を使った訓練および、家族への周知もあらかじめ準備しておくが良い。

(裏面に続く)

(地域包括支援センター)

非常災害は身近に感じる。地域の人達と協力して積極的に参加するのは良いこと。防災に関して、近隣の福祉施設とも連携、情報・意見交換するのも良いのでは。

次回会議では机上訓練などを実施報告してほしい。

5 今後の課題

- 外出レクの検討
実践的な機能訓練、季節を肌で感じていただく。
- 非常災害対策
水・食料・医療用品などの災害用備蓄を見直し。
非常災害発生を想定した机上訓練の計画・実施。

(その他)

- ・ 9/17、公民館にて地区の敬老会。カラオケ大会など。

次回、第6回運営推進会議は、平成31年3月の予定